

町長日誌 No.187



町長日誌の第187号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

5月12日(日)

5月1日、新しい令和の時代が始まり、私の町長としての任期も始まりました。改めまして宜しくお願ひいたします。

今日はロードレースや「公園まつり」がアニューで行われていますが、晴天にはなったものの肌寒い天候ですが、餅撒きにはたくさんの方が集まりました。さて、統一地方選挙が改元により前倒しになったとはいえ、通常4月に行われていました各種団体の役員会・総会などが総て連休明けから始まります。例えば、オホーツク町村会総会・旭川紋別自動車道早期建設促進期成会・オホーツク紋別空港利用整備促進期成会・北海道道路利用者会議・北海道道路整備促進協会・北海道漁港漁協協会・北海道公社営畜産事業推進協議会・北海道酪農振興町村長会議・北海道再生エネルギー振興機構・バイオマス産業都市推進協議会・名寄線代替バス運営協議会・北海道町村会定期総会等等、網走、札幌、東京を会場にして今月中に開催されます。もちろん、これでも全てではありません。これに加えて町内での自治会連合会総会などの会議も続きますので、連休に加え役場に不在の5月となってしまいます。

4月27日(土)

4月24日早朝から行方が分からなくなっている「加藤美代子さん」の大規模な捜索を午後1時から役場職員・消防団・有志など総勢約130名で行いました。これまで24日午後から25日、26日と道警のヘリも出動するなど広範囲の捜索をして来ましたがまったく手掛かりがありませんでした。27日朝にご家族から捜索の要請を受け今日大規模な捜索となりましたが、残念ながら手掛かり一つ発見できませんでした。今後、町としては警察の指示があれば捜索活動も行う考えですが、もし何か情報や手掛かりがありましたら役場総務課(☎82-2131)か警察(☎82-2110)までご連絡をお願いします。

4月29日(月)

午前中に町内のお寺で葬儀に出席し、役場で少し仕事を片付けて帰宅しようかと思ったら北の空に真っ黒な煙が見え消防団召集のサイレンが吹鳴しましたので、火災発生現場である宮下に向かいました。現場は雄武との町境にある元農家でおばあさんが一人暮らしのお宅なのですが、子供さんが来られて住宅周りの片付け作業中の出火でした。しかし、折からの高温乾燥と強風により古い物置に燃え移ったものです。住宅には影響はなく、火事そのものは小規模だったのですが古タイヤに火が移り黒煙が大きな火事のように空高く昇りました。物置の周囲は牧草地ばかりで海が見えるところで他に燃え移る心配はないと思っていたのですが、とにかく風が強くて乾燥していたため、草地に撒いてあったスラリー(牛の糞尿)がちょうど焚き付け材のように乾いていたためこれに次々と飛び火していくのです。そうこうしているうちに草地の何方所からもぶすぶすと煙が上がり、どんどん奥へと火が飛びように燃え移っていくのです。そして、とうとう草地周辺の笹に火が付きゴーと音を立てて火柱が上がりました。笹原は海まで何キロも続いていて山火事のような状態になりかけたのですが、すぐに要請した紋別消防本部のタンク車とたまたま通りかかった雄武消防支署長の配慮で雄武消防のタンク車も駆けつけていただき何とか鎮火となりました。今回の場所は水源が全く無く、真っ先に駆けつけた興部消防支署のタンク車の水が切れた時に笹原から火柱が上がったものですから大きな山火事のような状態も一時は想定しましたが、幸い立木の少ない場所であったことと紋別と雄武の素早い応援のお陰で鎮火出来ましたことは不幸中の幸いでした。駆けつけて下さいました皆様には心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、サクラが終わるとスモモの花が咲き出しスイセン・チューリップそしてタンポポと花のきれいな季節となります。町長として17年目を迎えました。しかし思うことは何年務めても新しい発見があることと仕事の手順は経験から分かりますが、新しい課題が次々に生まれてきますので、常に初めてのように思える毎日です。町民の皆様からいろいろなお話を聞かせていただきながらまちづくりに取り組みますのでご支援ご協力をお願いします。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願ひします。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

